

外国人が驚く日本の文化と魅力

動画リンク: <https://youtu.be/T6JlPrxX-fl>

今回は「外国人が驚く日本の文化と魅力」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には「ふりがな」があります。
後半は少しだけ速く（+20%）なり、漢字に「ふりがな」はありません。
学習にお役立てください。

■私のこと

こんにちは。私は竹田美奈と言います。30歳で、東京に住んでいます。私は東京で生まれ育ちましたが、大学時代には京都に4年間住んでいました。現在は、都内の会社で営業の仕事をしています。
私の趣味は料理と読書です。特に料理では、季節の食材を使った日本料理を作るのが好きで、最近ではだしの取り方や発酵食品に興味を持っています。読書では、歴史小説やミステリーを読むことが多いです。お気に入りの作家は「宮部みゆき」さんです。
私の家族は、夫と2歳の娘がいます。休日は家族で公園に行ったり、美味しいレストランでランチを楽しんだりすることが多いです。また、親しい友人と集まっておしゃべりをするのも大好きです。
外国の文化や旅行にも興味があります。大学時代にはイギリスに短期留学をして、英語を学びながらヨーロッパ各地を訪れました。この経験がきっかけで、外国の人々と交流する楽しさや、新しい文化を知る喜びを感じるようになりました。
私自身、日本で暮らす中で日常的に行っている習慣や文化について考えることが多いです。日本人として当たり前だと思っていたことが、外国の方にとってどのように感じられるのかを考えながら、皆さんにわかりやすくお伝えしていきたいと思っています。

■日本は治安がとても良い

その国の治安の良さを評価する「世界平和指数」というものがあり、日本は世界9位です。世界平和指数は、経済平和研究所という団体が23項目にわたって163か国を分析し毎年発表しているものです。
ちなみに、1位はアイスランド、2位はデンマーク、3位はアイルランド、4位はニュージーランド、5位はオーストリアです。アジアで30位以内に入っているのは日本だけです。
ただ、台湾は年々少しずつ順位を上げ、31位にランクインしています。自動販売機が多いことや、電車内で寝ること、無人の販売所（お弁当や食材など）、これらは日本という国の治安の良さを表しています。
カフェなどで自分の席を確保するために、バッグなどを置きっぱなしで席を離れる行為などは、多くの外国人が驚くようです。

■日本では道で酔っ払いが寝ている

一部の日本人は、お酒を飲みすぎて、酔っ払って道で眠ってしまいます。海外でも夜の街での飲酒は普通のことですが、ベロベロになるまで酔っ払うということはまずありません。なぜなら、盗難や事故に遭いかねず、とても危険だからです。ちなみに「ベロベロに酔っ払う」ことを「泥酔状態」といいます。泥酔状態の正確な意味は「何もわからなくなるほど、ひどく酒に酔うこと」です。

■日本人は正直者が多い

多くの日本人は、落とし物を拾ったら警察に届けます。たとえば2022年は現金だけで40億円弱が警察に届けられました。この金額は、日本の「現金の落とし物」としては過去最高金額だそうです。日本では落とし物を警察に届けて、落とし主が見つかった場合、落とし主から5～20%のお礼が渡されます。拾ってくれたお礼としていくらのお礼（お金）をあげるのかは、落とし主が決めることができます。

■日本人の10分前行動の時間感覚

電車やバスが数分遅れると「遅延」と表示するなど、日本人は1分1秒を大切に思う人が多いです。商談やミーティングは、時間通りに始められるように開始時刻の5～10分前には準備ができていますと好ましいです。これを覚えておくと、日本人とスムーズにコミュニケーションが取れるようになります。

■日本人は頻繁にお辞儀をする

お辞儀とは、挨拶や感謝、敬意などを表すために、相手に向かって腰を折り曲げる動作です。公共施設やお店を利用すると、スタッフがお辞儀をします。ビジネスにおいても、取引先の社員との挨拶のときや別れるときなど、何度もお辞儀をします。お辞儀の文化がない国の人からすれば違和感があるかもしれませんが、これは日本人にとっては当たり前の行動なのです。「お辞儀」は「辞儀」の丁寧な言葉ですが「辞儀」だけで使われることはほとんどありません。ちなみに、家族や親しい友人にはお辞儀はしないのが普通です。

■日本では自動販売機は地方から都市部まで広く普及している

日本では、スーパーや遊園地、公園、道などはもちろん、公共の場やバス停、駅などの混雑した場所、会社や学校など、いたるところに自動販売機が設置されています。これも日本の治安が良いからできることです。ちなみに日本人が言う「スーパー」はスーパーマーケットのことです。日本人はスーパーマーケットやコンビニエンスストアなどを「スーパー」や「コンビニ」など、すぐに省略してしまう習慣があります。

■日本では冬なのに小学生は半ズボン

日本の冬は寒いですが、道ですれ違う小学生が半ズボンだったために「あの子は寒くないのか」と驚く人もいます。日本には「子供は風の子」ということわざがあります。これは「子どもは寒い風が吹く中でも元気に外で遊びまわり、大人は寒がって火のそばを離れない」という意味です。もちろん寒さが苦手な日本人の子どももたくさんいますが、冬でも半ズボンの子供はたくさんいます。

■日本人は礼儀正しい

日本では、「すみません」という言葉を、謝るときだけでなく、挨拶や感謝の意味でもよく使います。でも、海外では謝ることは、自分の間違いを認めることなので、そんなに簡単には使いません。日本の電車やバスでは、静かにするのがマナーで、大声で話さないようにしています。マスクをする人も多いですが、これは自分を守るだけでなく、風邪を人にうつさないためです。海外では、マスクをする人は少ないです。日本のこのような振るまいは、他の人へのやさしさ・思いやりです。

■日本人はシャイな人が多い

一般的に海外では「日本人は恥ずかしがりの、内気な性格」と思われることが多いようです。日本人がシャイな理由は、文化や社会的な要素が関連しています。人との関わりや集団行動の中で、色々なことがスムーズに進むように自分の意見の主張を控える傾向があります。つまり「言いたいことを言わない」人が多いということです。これは多くの場合で日本人と接するとき、コミュニケーションのヒントとなりますので覚えておいてください。

■お財布をズボンの後ろポケットに入れる

日本を訪れた人は、たくさんの日本人がズボンの後ろのポケットにお財布を入れていることに驚くかもしれません。外国では、スリに狙われやすいから絶対にしないことです。でも、日本ではたくさんの人（特に男の人）が普通に後ろポケットに財布を入れています。イタリア人の友人曰く「イタリアでそんなことをしたら空港を出るまでにスリに遭うだろう」とのことです。改めて日本の治安の良さを感じます。

■電車の中で居眠りをする

外国の人は、日本の電車によく人が居眠りをしているのを見て驚くことが多いです。外国では、電車で寝るとスリの被害に遭ったりする危険が高いからです。でも、日本では平日の夕方とかに、電車で寝ている人がたくさんいます。

■見える場所に貴重品を置く

カフェやレストランで席を離れるとき、荷物を置いて席を確保することがあります。バッグやスマホを机の上に置く人も多いですが、外国の人はこれを「危ない」と思っています。外国では、ちょっと目を離しただけでスリや置き引きの被害に遭ったりすることがよくあります。特に人が多い場所では、貴重品を見えるところに置くのはとても危険です。貴重品というのは財布やスマートフォンなど大事なもののことです。

■タクシーのドアが自動

日本のタクシーのドアは自動で開閉します。これは、外国から来た人たちをよく驚かせます。たとえ、話で聞いていても、実際に見ると「本当だったんだ！」と思うようです。また、タクシーの運転手さんの礼儀正しさも、世界的に見てもとてもレベルが高いと感じる人が多いようです。ちなみに、私たち日本人は自動ドアのタクシーに慣れているため、海外でタクシーに乗ったとき、ドアを閉め忘れてドライバーに「おいおい、ドアを閉めてくれ！！」と注意されてしまうという経験を度々します。

■Wi-Fiを使えるところが少ない

日本はWi-Fiが公共の場所で使える場所が少なく、外国から来た観光客がインターネットの通信環境に不便さを感じることが多いです。観光客のアンケートで、日本で困ったことの1位が「Wi-Fiが無料で使えない」で、多くの人がこの問題を感じています。

■時間外ATM

日本に来た外国人は、時間外でも使えるATMに驚くことがよくあります。多くの外国では、ATMが夜間や休日に使えないのは普通なので「日本のATMはいつも使えてすごい！」と感心するようです。さらに、「夜遅くや休日にATMを動かしているので、手数料などたくさんお金がとられていないか」と心配する人もいます。ただし、たくさんのお金をとられることはありませんが会社によっては「時間外手数料」として100円や200円程度かかる場合があります。

■カプセルホテル

カプセルホテルは日本でよく知られていて、外国人にも人気です。安くて、一人ひとりが独立した小さな部屋に泊まります。その未来的な形や、快適さが人気の理由みたいです。最近ではより特別なデザインのカプセルホテルが増えていて、楽しい要素がたくさんあります。女性専用のカプセルホテルもあり、安全性はどんどん高くなっています。また、日本だけではなく、海外でもカプセルホテルが増えてきているようです。

■日本ではまだFAXを使っている

未だにFAXを手放せない日本人。家庭での使用だけではなく、企業によってはビジネスで使う場面も多く見かけます。外国人は「ITが発達している日本がなぜ？」ととても不思議に思っているようです。多くの日本人もあなたのように不思議に思っています。

■お辞儀について

日本では、初めて会う人や謝るとき、感謝を伝えるときなどに、頭を下げてお辞儀をするという習慣があります。日本人がお辞儀をするようになったのは、中国から仏教が伝わった500～800年頃だといわれています。もともと、お辞儀には「攻撃する意志がないこと」を伝える意味があります。身体の中で最も大切な部分である頭を相手に向かって下げ、戦うつもりがないことを表します。日本のように日常的には行われないものの、中国や韓国を含むアジアの他の国々でもお辞儀をする文化は存在します。しかし、欧米ではこのような習慣は見られず、電話で話している際にも目に見えない相手に対して、お辞儀をする日本のサラリーマンの姿に驚く外国の人もたくさんいるようです。

■時間を守る

日本では、公共の交通機関の運行スケジュールやビジネスの場面など、時間を正確に守ることが重視されています。これは日本特有のマナーといえるでしょう。多くの国では、電車が30分遅れることや、レストランで注文した料理がなかなか出てこないことも珍しくありません。しかし、日本では「5分前集合」と言われるように、時間に対する意識が高く、時間を守ることが非常に重要視されています。日本を訪れた外国人の中には、1分単位で正確に運行する電車が驚く人も多いようです。東京の多くの方は、待ち合わせ時間に5分や10分遅れると「時間にだらしがいない」と感じる人が多いので、注意してください。ただ、日本の中でも沖縄県などでは「ウチナータイム（沖縄時間）」などと言われるように、1分どころか、待ち合わせに1時間遅れても怒る人はそんなにいません。「沖縄の人は待ち合わせ時間に家を出る」という笑い話があります。これは、10時に待ち合わせをしたら、10時に家を出ることを表していて、家を出た時点で遅刻が確定しているという笑い話です。もちろん、沖縄の人みんながそうであるということではありません。そのくらい沖縄の人たちの中では時間がゆっくり流れていることを意味しています。

■ゴミは分別する

日本は他の国と比較すると、「細かくごみを分別しなければならない」という点に外国人は驚くようです。地域によって細かいルールは異なりますが、燃えるゴミ・燃えないゴミ・ペットボトル・缶・ビン・ミックスペーパーなどと、分別してゴミに出すのが一般的です。外国人にとっては、ゴミの分別だけでも大変なのに、牛乳パックの中身をすすいで洗ったり、ペットボトルのフタとラベルを分けてから捨てたりなど、捨てる人の細かい配慮があることにさらに驚く人も多くいます。

■ゴミをポイ捨てしない

日本はゴミ箱が少ない国にも関わらず、道端にゴミが落ちていない国です。道端や道にある排水溝などにゴミをポイ捨てすることはやめて、自分で出したゴミは持ち帰るか、ゴミ箱を見つけて捨てるようにしましょう。

■公共の場では騒がない

電車やバスの中では携帯電話で話してはいけません。海外では電車の中で電話で話すことはごく普通の光景ですが、日本ではマナー違反です。さらに、優先席付近ではスマホの電源を切ることも大切です。電話で話す場合は、電車を降りてから話すか、新幹線の場合だと、座席のある車両から出て人のいないデッキなどで電話しましょう。たまに見かける電車の車内の光景は、電話に出て「すみません。折り返します」とだけ相手に告げ、電話をすぐに切っている場面です。これは、「今は電車だから話せないけど、そのことだけでも伝えたほうが相手に対して失礼にならない」という考えからこうした行動になっています。電車の中で隣の人と話すことと、電話で話すことはあまり変わらないのに、電話で話していることが分かると、嫌がる日本人がとても多いです。もしかしたら、もともと「公共の場で騒がしくしてはならない」という考え方があって、電話だと声が大きくなる人が多いため、いつの間にか「電車やバスのような閉鎖的な空間で電話をするのは良くないこと」という考えが定着してしまったのかもしれませんが。若者がBluetoothのイヤホンで音楽を聴いていたところ、その音が外に少し漏れていて、近くにいた人にポンポンと肩を叩かれて「音量が大きすぎるから小さくしてくれ」と指摘されるシーンもたまに見かけます。

そういう指摘をする人はごく少数です。ほとんどの場合、明確なルールはありません。ただ、ルールや理由とは関係なく、周りで不快な思いをする人がいるなら、その人を気遣うことが大事なことだと思います。

■電車やバスの車内での飲食

日本の電車やバスなどでは、物を食べたりするのも良いことだとされません。新幹線や夜行バスなどの長距離移動だと駅弁など楽しむことができますが、通勤・通学時など比較的近距离の移動の場合は避けたほうがいいです。長距離はいいけど短距離はダメ、といったルールがあるわけではありませんし、日本人の私ですらなんだか不思議な感覚です。ただ、短距離の場合、乗り降りする人が多いですし、長距離新幹線のように決まった席があるわけでもないため、混雑することも多いです。「車内で人が動くことが多い」「混雑する可能性がある」そのようなシーンでは、基本的には、何か食べたりしないほうがいいと覚えておくといいかもしれません。とにかく、日本人の多くは「知らない人に迷惑をかけない」「周りの人を不快にさせない」と考えている人が多いようです。

■エレベーターの中

エレベーターの中でしゃべること自体は何も問題ないはずですが、日本人の多くの方は、エレベーターの中では無言になります。これは「狭い空間で騒がしくしてはいけない」という考えからくるものだと思いますが、エレベーターのドアが閉まった瞬間、エレベーター内はとても静かな空間になります。話すことは問題ありませんが、大きな声では話さないようにしましょう。また、エレベーター内で電話をすることは、一般的にはマナー違反となります。たまにエレベーター内で会話をしている人たちを見かけますが、ものすごくヒソヒソ話をしていて、個人的には「普通の声の大きさで話せばいいのに」と感じています。

■整列して並ぶ

電車をホームで待つとき、日本では静かに列に並んで待ちます。電車がきたらそのまま列を乱すことなく、順番に乗らなくてはなりません。コンビニやスーパーで買い物をするときも、レジ前では、整列をして自分の番を待つようにしましょう。並ぶ方向や位置がわからない場合は床をみると「こちらにお並びください」や矢印など、それを示すものが見つけられるかもしれません。ちなみに、エスカレーターはどちらか片方に寄ります。東京などの関東エリアでは左に寄って、大阪などの関西エリアでは右に寄ります。どちらに寄ればいいかわからないときは、あなた以外の人たちがどちらに寄っているのかで判断すればいいと思います。どちらかに寄る明確な理由は、日本人の私ですら詳しく知りませんが、急いでいる人のために通路をつくっているようです。

■家では靴を脱いで、靴は揃えて置きましょう

自宅だけでなく、友人の家に招待されたときなど、靴は玄関で脱いで家に入りましょう。また、脱いだ靴を揃えて置くと「この人は礼儀正しい人だな」と思ってもらえます。欧米では「屋内でも靴を履いたまま」というのが一般的ですが、北欧地域やアジアのタイなどでは日本と同じように、玄関で靴を脱いでから入る文化があるようです。日本ではなぜ屋内で靴を履かないのかというと、靴の中で足が蒸れてしまうのを防いだり、また昔は床に座って過ごす時間も多かったことなどが理由となっています。

■日本では夕方前から街に学生がたくさんいる

海外の国によっては学生は午後6時や7時まで勉強している国もたくさんあります。そういう国の人からみたら「日本の学生はよくサボっているなあ」と思うかもしれませんが、サボっているわけではありません。日本ではそんなに長く授業がないだけです。

■冬の雪が降っている季節でも若い女性はミニスカート

日本では冬の雪が降っている季節でもミニスカートをはいている女性が多いです。ミニスカートの学生も多いです。外国の人からみたら「寒くないの?!」と驚くかもしれませんが、彼女らは普通に寒いと感じています。寒いのにミニスカートをはく理由は「かわいい」からです。彼女たちは、かわいいことを寒いことより優先させるのです。

■ティッシュの無料配布

日本では、駅の近くなど人がたくさん通る場所でティッシュを無料で配っている人がいます。このティッシュは広告のためのティッシュなのですが、「なぜ無料でティッシュをくれるのか」と驚く外国の人が多くいます。

■物価の安さ

外国人が日本に来て驚くことの一つに、日本の物価の安さがあります。しかし、その驚きの度合いは出身国によって異なります。例えば、ヨーロッパから来た人々は、日本の外食の安さに特に驚きます。フランスやドイツでは外食は高価ですが、日本では数百円から千円程度で美味しい食事が楽しめます。コンビニの弁当やラーメン店での食事は、特にコストパフォーマンスが高いと評判です。

アメリカからの旅行者は、公共交通機関の料金の安さに驚くことが多いです。アメリカの大都市では地下鉄やバスの料金が高くなりがちですが、日本の都市では数百円でどこへでも行ける便利さがあります。また、東京メトロやJRの定期券を利用すれば、さらにお得に移動できます。

東南アジアからの観光客は、100円ショップの存在に驚くことが多いです。ダイソーやセリアといった100円ショップでは、質の良い商品が驚くほど安く手に入ります。文房具、キッチン用品、生活雑貨などが手軽に購入できるため、多くの観光客が訪れます。さらに、近年の円安も日本の物価の安さを際立たせています。2024年4月29日には、34年ぶりに1ドル160円という円安を記録しました。海外からの旅行者にとって日本での買い物や観光が一層お得になっています。円安のおかげで、外国人観光客はより多くの日本の文化や商品を手軽に楽しむことができるようになりました。

このように、物価の安さや円安の影響で、日本は多くの外国人にとって魅力的な旅行先となっています。それぞれの国からの観光客が感じる驚きのポイントは異なりますが、いずれも日本の物価の安さに感銘を受けています。

「外国人が驚く日本の文化と魅力」はいかがでしたか。

コメント欄から感想をみんなに教えてください。

それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

